



六中だより

学力を保障し、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくり

令和4年3月1日

3月号

新座市立第六中学校

『卒業と進級の季節』

— あかるく・素直に・粘り強く —

校長 田中 悟

学校周辺にある梅の木が白い花を咲かせております。グラウンドの木々も次第にその芽をふくらませてきました。

肌寒い日もありますが、季節は確実に春の息吹を感じさせるようになって参りました。

3月は1年間のまとめの月であり、卒業と進級という、新たな旅立ちとスタートの舞台を整える時期でもあります。

この1年、保護者・地域の皆様方には見守り活動をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大防止面においても、様々な御協力とお力添えをいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

成長の軌跡

北京オリンピックにおいて、スキージャンプ男子個人ノーマルヒルで金メダルに輝いた小林陵侑選手は、岩手県八幡平市に生まれ、物心ついたころから雪で遊ぶ生活をし、小学校3年生のときにジャンプ板を履いたといひます。中学校時代はサッカー部に在籍し、並行してスキージャンプの練習を続け、中学校3年生の時にジャンプと複合の2冠を達成しました。そしてこの頃からスキージャンプと本格的に向き合うようになったそうです。

高校時代にスキージャンプとして進化を遂げ、国体では2連覇しました。

その後実業団に所属した小林選手は、2018年にワールドカップで初優勝し、各地を転戦しながらスキーフライングワールドカップ総合成績で金メダルを獲得しています。

体の大きな外国選手にも臆せず、一人滑走台からスタートしていく小林選手。そこには、「こうなりたい…。こうありたい…。」という夢や希望を胸に秘め、その実現に向け、一つひとつと自分自身が積み重ねていった「成長の軌跡」があるのだと考えます。

大本命としての「ハイプレッシャー」をはねのけ、2本のジャンプを飛び終えた小林選手の顔には、積み重ねた練習の成果を出し切った笑顔がありました。

この1年間、お子さんが頑張ったことや真剣に取り組んだこと、様々な問題を乗り越えながら成長したことを、ご家庭でも「成長の軌跡」として認め、次に向かう励ましと評価に結びつけていただきますようご指導をお願いいたします。

警鐘「多様化するネットトラブル」

携帯電話の利用やネット利用に伴う児童生徒のトラブルが多様化、低年齢化しています。携帯電話は、声やデータを電波に乗せ、プロバイダなどを經由して、瞬時に世界中のネットワーク同士を相互に接続することができます。思いがけない事件事故の被害者や加害者になる事例もあり、その場合、使用した携帯電話の契約者である保護者の責任が問われます。保護者の監督下として、家庭内での「ルール」を決め、守らせること。機器を買い与える場合、利用上のリスクや「やってはいけないこと」について子どもに注意、指導すること（ペアレンタルコントロール）が必要であり、時には保護者として判断（使用の制限や禁止）をすることも大切であるとされます。

（「ネットトラブルの特徴」下田博次 著より）

新型コロナウイルス感染症対策

- ・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がけるようにご家庭でもご指導ください。
- ・手洗い、うがいの励行と咳エチケットの徹底。風邪症状等の有無に関わらず、体調管理のための検温を実施し、体調不良を感じたら無理をさせずに自宅で療養させてください。
- ・卒業式等の対応については別紙をご覧ください。国や県の指導により、新たな対策が出される場合もありますことをご了承ください。